

1.医療や産業、教育など多岐にわたる専門領域を、横断・総合的に学ぶ

2.心理学の研究に欠かせないデータサイエンスの素養を修得

3.国家資格「公認心理師」と「臨床心理士」のダブル取得をめざせる



ここを起点に 多様なシーンで活躍

将来の進路

● 病院、精神科クリニック

● 精神保健福祉センター

● 企業の人事・労務部門

● 企業の企画・広告部門

● こども相談センター（児童相談所）

● 子育て支援センター

● 公務員

● スクールカウンセラー

● 高校(公民)教員

など

取得できる資格

- 認定心理士
- 社会調査士
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書
- 高等学校教諭一種免許状（公民）

取得をめざす資格

- 公認心理師国家試験受験資格（大学院修了後もしくは実務経験後）
- 臨床心理士受験資格（大学院修了後）

4回生

卒業研究

これまで身につけた研究法や査定法での実践的なスキルを、卒業研究や臨床実践にいかし、卒業論文を完成させる。

- ✔ 課題解決力
- ✔ 協調性
- ✔ 表現力
- ✔ 研究能力
- ✔ プレゼンテーション力
- ✔ 柔軟な対応力
- ✔ ストレス対処力



3回生

専門領域の学びを深める

各領域において専門性の高い知識を修得し、さらに領域間にまたがる科目を広く履修することで、心理学への理解を深める。自身の研究テーマ・研究計画を考案する。

- ✔ 実践力
- ✔ 課題発見力
- ✔ 論理的思考力
- ✔ 構造・計画力
- ✔ 発信力



2回生

心理学の幅広い専門領域を知る

5つの領域（※）における導入的知識を総合的に学びながら、カウンセリングやマーケティングなどの各領域の専門的理論・技術に触れる。学科独自のキャリア科目でキャリア意識醸成をはかる。

※「臨床心理学」「社会・産業心理学」「発達・教育心理学」「行動・脳科学」「健康・福祉心理学」

- ✔ 専門領域の知識
- ✔ 応用力
- ✔ 科学的思考力
- ✔ コミュニケーション力
- ✔ データサイエンス
- ✔ 状況把握力
- ✔ 主体的実行力



1回生

心理学の基礎を総合的に学ぶ

「人間を心理学的に理解する」ため、自己理解、自己表現についての学びを深めるとともに、心理学の研究法の基礎を身につける。

- ✔ 心理学の基礎知識
- ✔ 自己表現力
- ✔ 心理学の研究法
- ✔ 教養力
- ✔ 自己調整・学習力

PICK UP 科目

- 心理学概論
- 心理学統計法Ⅰ
- 総合心理学概説
- 臨床心理学概論
- 心理学実験演習Ⅰ・Ⅱ
- 自己表現研究Ⅰ

こんな経験もRECOMMEND

- 心理学の概説や歴史が記述されている書籍の精読
- 文系・理系を問わず幅広い領域の教養に触れる

PICK UP 科目

- 心理的アセスメントⅠ
- 発達心理学
- 心理学データ解析
- 学習・言語心理学
- 対人援助論
- 健康・医療心理学
- 社会・集団・家族心理学

こんな経験もRECOMMEND

- 興味を持った心理学の専門領域に関する書籍の精読
- 専門領域ではどのような研究が行われているのか、学術誌を読む
- 海外留学プログラムSAPへの参加

PICK UP 科目

- 心理データサイエンス演習Ⅰ・Ⅱ
- 発達臨床心理学
- 心理演習
- こころの脳科学
- 広告と消費の心理学
- メンタルヘルス・マネジメント

こんな経験もRECOMMEND

- 専門領域の書籍や論文を読む
- キャリア・パスの設計
- 心理学・自身・社会をつなぐようなアウトプットの構想を練る

PICK UP 科目

- 卒業研究Ⅲ・Ⅳ
- 心理実習

こんな経験もRECOMMEND

- めざす進路に向けて情報を収集する
- 大学院への進学で、公認心理師と臨床心理士のダブル取得をめざす
- 研究成果をまとめて学会等での発表をめざす